

勇壮な太鼓で新年の幕開け



4日、新春恒例の「上越市新年祝賀会」が、リージョンプラザで行われ、市内から千人を超える市民が一堂に会し、新年を祝いました。

オープニングは、吉川区の太鼓集団「鼓舞衆」(こぶし)のみなさんです。力強い太鼓の音で、会場が一体になるようでした。

つづいて、「コーラスおがた」のみなさんのリードにより参加者全員で上越市民の歌(このふるさと)を歌いました。

♪山のめぐみ豊かに水は流れる海めぐみ豊かに風は光るきこえてくるのは山の歌きこえてくるのは海の歌・・・まさに自然豊かな上越を彷彿とさせるすばらしい歌です。

この豊かな自然と、ここに暮らす二十万市民が大切にされる上越にするために、歌の通り、「どこまでもどこまでも」「美しいふるさとを抱きしめていこう」という思いが大切です。

糸魚川大火に被災者生活再建支援制度を適用

日本共産党国会議員団などのすばやい対応で

国・県・市から400万円

先月22日に発生した糸魚川市の大火は、144棟にもものぼる家屋が焼ける大災害となりました。

一刻も早い復旧復興が大事ですが、日本共産党国会議員団などのすばやい対応で、被災者への支援が手厚いものとなりました。

日本共産党は火災が発生した22日の午後、すぐに災害対策本部を立ち上げ、上野こうえつ上越市議や新保糸魚川市議などを先頭に被災者支援に奔走しました。25日には藤野やすふみ衆院議員、井上さとし、ただた良介両参院議員が現地をつぶさに視察。週明けの26日には、さっそく政府に公的な被災者支援を要請しました。

その際、内閣府の担当者は、はじめ「被災者生活再建支援制度については、自然災害でないので対象にならない」という姿勢でした。

これに対して、藤野議員は「フェーン現象によって被害が大規模に拡大した。強風がなければこれだけの延焼は起きていない。現地の実態に即した対応をすべきだ」と、現

地視察に基づいた的確な指摘を行い、考え直しを迫りました。

その結果、被災者に対して、国から300万円、県・市から100万円、合計400万円が支給されることになったことは報道の通りです。

このことは県当局も認識しており、日本共産党の渋谷明治県議に対し、県防災局長から「被災者への支援が実現することになりました。貴党の尽力に感謝します」とのメッセージが寄せられました。

なお、同時に県・市で合わせて100万円の上乗せがされることになったことは、米山県知事ははじめとした県当局の決断が早かったことをしめしています。県民の立場に立った県政は、こんな面にも表れています。



藤野保史衆院議員

上越民主商工会が青旗開き 平良木議員が連帯の挨拶

消費税引き上げ反対などをめざして、商工業者の暮らしと営業を守る活動を繰り返している上越民主商工会(上野正信会長)



は8日、民商会館で青旗開きを行い、「助け合い、相談して、米山知事や森ゆうこ参院議員に業者の『困った』を伝えよう」という春の運動の方向などを確認しました。

来賓として参加した平良木議員は、「暮らしを圧迫している安倍暴走政権は、実はウソにまみれたもの。真実の光、事実の光を当てて退陣させよう」と挨拶しました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No. 529 2017年1月15日

連絡先	橋爪 法一	090-5392-1961	(吉川区代石)
	橋本 正幸	080-1980-9855	(三和区鴨井)
	上野 公悦	090-7260-9407	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	090-1808-6919	(上中田)